

第2学年 国語科学習指導案

学 級 2年1組 男子13名 女子15名 計28名
場 所 2年1組教室
授業者 中野 久仁子

- 1 単元名 おもちゃのせつめい名人になろう
教材名 「しかけカードの作り方」「おもちゃの作り方」(光村図書2年下)

2 単元について

(1) 教材について

学習指導要領第1学年及び第2学年の「読むこと」の指導目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。また「書くこと」の指導目標は、「経験したことや想像したことなどについて、順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書く能力を身に付けさせるとともに、進んで書こうとする態度を育てる。」である。本単元は、「読むこと」の指導事項「イ時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと」、「書くこと」の指導事項「ウ語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと」を受けて設定された単元である。本単元では、「1年生におもちゃとその説明書をプレゼントするために、『しかけカードの作り方』で説明の工夫を探し、それを使って『おもちゃの作り方』を書く」という言語活動を位置付ける。

1学期の「たんぼぼのちえ」では、時間的順序や事柄の順序を考えながら読み、たんぼぼの知恵についてカードにまとめた。さらに「かんさつ名人になろう」では、一つのことに話題を絞って客観的に記録した事実を書くことや、「まず」「次に」「さいごに」などの順序を表す言葉を使って書くことを学んできた。

本教材「しかけカードの作り方」は、カード作りの手順を説明した文章である。作るのに必要な、《材料と道具》《作り方》《使い方》が順序に沿って書かれている。特に《作り方》の部分では、作り方の手順を示す「まず」「つぎに」「それから」という言葉が使われているため、書かれていることを正確に理解することができる。実際の作業を伴うため、児童一人一人が楽しみながら何度もフィードバックして読むことができる。「おもちゃの作り方」では、「しかけカードの作り方」で読んだ工夫を使って、1年生にプレゼントする説明的な文章を自分で書くという学習を行う。

(2) 児童について

児童は、「かんさつ名人になろう」の学習では、対象を見たり触ったりして丁寧に観察し、「まず」「次に」などの順序を表す言葉を使って記録する文章を書くことを学んだ。さらに、「こんなもの、見つけたよ」では、おもしろいと思ったものを知らせる文章を「はじめ」「中」「おわり」の簡単な組み立てを考えて書くことを学んできた。

夏休みや冬休みの作品発表の時に、作品の作り方を簡単に話した経験はあるが、ものの作り方を説明する文章を書くという経験はほとんどなく、また、下級生に説明するという相手意識をもって話したり書いたりする経験も少ない。

(3) 指導について

本単元では学習のゴールとして、1年生におもちゃのプレゼントをするために、「しかけカードの作り方」で説明の工夫を探し、それを使って「おもちゃの作り方」を書くという言語活動を位置付ける。

一次では、自分たちで作ったおもちゃを想起させ、説明書を付けたおもちゃを1年生にプレゼントすることを知らせる。「しかけカードの作り方」を読みながら実際に作ってみる活動を行い、学習の見通しをもたせる。

二次では、「しかけカードの作り方」の説明の仕方にはどのような工夫があるのかを読み、カードにまとめさせる。はじめに、順序を表す言葉とよさに気付くことができるようにさせる。次に、作業することの後にアドバイスの文が書かれていることに気付くことができるようにさせる。最後に文章の構成に気付かせる。それぞれのよさをカードにまとめさせ、自分で書くときに活用できるようにしていく。

三次では、二次までに学習した説明の工夫を使って、1年生にプレゼントするおもちゃの説明書を書かせる。はじめに「けん玉の作り方」を読んで、説明の工夫がどのように書かれているかを確認した後で、〈前書き〉〈ざいりょうとどうぐ〉〈作り方〉〈遊び方〉の構成で説明書を書かせる。その際、二次で学んだ説明の工夫を想起させ、自分の説明書に活用できるようにさせる。1年生が間違えずに作るができるようにという相手意識をもって、まとめや順序を考えながら、自分の選んだおもちゃの説明書を書いていくことができるようにしたい。

3 単元の目標と評価規準

観点	目標	観点	評価規準
国語への関心・意欲・態度	・おもちゃの作り方を説明する文章を書くために、説明の工夫を見つけて、1年生が間違えずに作れる説明書を書くようにする。	国語への関心・意欲・態度	・おもちゃの作り方を説明する文章を1年生にプレゼントするために、順序を表す言葉やアドバイスなどの工夫を見つけて、自分の説明書に説明の工夫をしながら書こうとしている。
書くこと	・事柄の順序や表現上の順序に気がつけながら、内容のまとまりやつながりのある文章を書くことができる。(ウ)	書く能力	・おもちゃの作り方の順序や、作業することの次にアドバイスを書くという表現上の順序に気がつけながら、内容のまとまりやつながりのある文章を書いている。
読むこと	・説明されている事柄の順序や、写真と文のつながりなどを考えながら内容の大体を読むことができる。(イ)	読む能力	・順序を表す言葉が使われていること、手順(すること)の次にアドバイスが書いていることや、写真と文が対応していることのよさを考えながら「しかけカードの作り方」の大体を読んでいる。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。(イ(ウ))	言語についての知識・理解・技能	・「まず」「次に」「それから」「今度は」「最後に」などの順序を表す言葉を理解している。

4 指導計画(10時間)

段階	時	本時の目標	学習課題と主な学習活動	評価規準 観点【 】 方法()
一次	2	① 単元の学習の見通しをもち、学習計画を立てることができる。 おもちゃのせつめい名人になろう	これからの学しゅうの見通しをもとう。 ～しかけカードを作ってみよう。～ ・「せつめい名人」になって、1年生におもちゃとその説明書をプレゼントすることを確かめる。 ・「しかけカードの作り方」を読みながら自分でカードを作る活動を通して、文章のどこに着目したのかを話し合い、学習課題を立て単元の見通しをもつ。	・単元のゴールが「1年生に説明書をプレゼントする」ということを知り、「しかけカードの作り方」から説明の工夫を探すために、文章を読みながら実際にしかけカードを作り、文章の着目点について話し合うことで、学習計画を立てようとしている。 【関・意・態】(観察・発言)
二次	3	③ 順序を表す言葉と作業することが書かれていることを読み、そのよさを考えカードにまとめることができる。	せつめいのくふう①を見つけよう。 ・順序を表す言葉を探し、そのよさを考え、説明の工夫カードにまとめる。 ・しかけカードを作るための手順(すること)を文章から抜き出す。	・「まず」「つぎに」などの順序を表す言葉があると分かりやすいことが分かり、説明の工夫カードにまとめている。 【読イ】(ワークシート) ・「まず」「つぎに」などの順序を表す言葉を理解している。 【言イ(ウ)】(ワークシート)
		④ 作るときにアドバイスが書かれていることを読み、そのよさを考え、カードにまとめることができる。	せつめいのくふう②を見つけよう。 ・作るときに注意することが書かれていることを読み、そのよさを考え、説明の工夫カードにまとめる。 ・しかけカードを作るためのアドバイスの文を文章から抜き出す。	・することの後に注意することや訳などのアドバイスが書いてあると、間違わずに気を付けながら作ることができるというよさがあることが分かり、説明の工夫カードにまとめている。 【読イ】(ワークシート)
		⑤ まとまりごとに説明されているよさを考え、カードにまとめることができる。	せつめいのくふう③を見つけよう。 ・説明全体の組み立てが4つに分かれていることに気付き、そのよさを考え、説明の工夫カードにまとめる。	・見出しがついていてまとまっている構成になっていると、自分の読みたいところをすぐに読むことができることが分かり、説明の工夫カードにまとめている。 【読イ】(ワークシート)

三 次	5	⑥ 説明の工夫がどのように書かれているかを確かめることができる。	<p>せつめいのくふうの書かれ方をたしかめよう。</p> <p>・「けん玉の作り方」を読み、説明の工夫を確かめる。</p>	<p>・これまで見付けてきた説明の工夫が、どのように実際に書かれているのかを確かめている。</p> <p>【書ウ】(発言・観察)</p>
		⑦ 説明の技を使いながら〈前書き〉〈ざいりょうとどうぐ〉〈遊び方〉を書くことができる。	<p>せつめい書を書こう。〈前書き〉〈ざいりょうとどうぐ〉〈あそび方〉</p> <p>・〈前書き〉〈ざいりょうと道具〉〈遊び方〉を説明の工夫を使いながら書く。</p> <p>・友達と読み合い、よいところを見つける。</p>	<p>・〈前書き〉〈ざいりょうとどうぐ〉(〈作り方〉)〈遊び方〉という構成に沿って、せつめい書を書いている。</p> <p>【書ウ】(ワークシート)</p>
		⑧ 〈作り方〉の手順を、順序を表す言葉や数字を使って書くことができる。	<p>じゅんじよに気をつけて〈作り方〉を書こう。</p> <p>・〈作り方〉の手順(すること)を、順序を表す言葉や数字を使って書く。文に合わせて必要な絵を描く。</p> <p>・友達と読み合い、よいところを見付ける。</p>	<p>・〈作り方〉の手順を、「まず」「つぎに」などの順序を表す言葉や数字を使って書いている。【書ウ】(ワークシート)</p> <p>・「まず」「つぎに」などの順序を表す言葉を理解している。【言イ(ウ)】</p>
		⑨ 〈作り方〉の手順の後に、作業上の注意点、なぜそのように作るかの訳、などのアドバイスの文を考えて書くことができる。【本時】	<p>1年生がまちがえずに作れるようにアドバイスを書こう。</p> <p>・〈作り方〉の手順(すること)の後に、アドバイスの文を考えて書き加える。</p> <p>・友達と読み合い、よいところを見付ける。</p>	<p>・〈作り方〉の手順の後に、作業上の注意点、なぜそのように作るかの訳、などのアドバイスの文を考えて書いている。</p> <p>【書ウ】(ワークシート)</p>
		⑩ おもちゃのせつめい書を読み返し、表記上の間違いを正して、清書することができる。	<p>おもちゃのせつめい書をかんせいさせよう。</p> <p>・おもちゃの説明書を読み返し、表記上の間違いを正して、清書する。</p>	<p>・おもちゃの作り方を読み返し、表記上の間違いを正して、清書している。</p> <p>【書エ】(ワークシート)</p>

5 本時の指導(9/10)

(1) 目標

〈作り方〉の手順の後に、作業上の注意点、なぜそのように作るかの訳などのアドバイスの文を考えて書くことができる。

(2) 評価と支援

評価の観点・評価規準	期待する児童の記述例	努力を要する児童への支援
<p>【書く能力ウ】</p> <p>〈作り方〉の手順の後に、作業上の注意点、なぜそのように作るかの訳などのアドバイスの文を考えて書いている。</p>	<p>〈アドバイスの文の例〉</p> <p>・あなを大きくしすぎると、ゴムがすぐにぬけてしまいます。</p> <p>・かた方を先に、セロハンテープでとめておくと、もうかた方がとめやすくなります。</p> <p>・あなにゴムをとおす時、ようじが手にさらないように気をつけましょう。</p>	<p>自分の生活科カードを見て、おもちゃを作ったときに難しかったところ、注意したことなどを思い出させる。</p> <p>アドバイスの言葉集を用意し、活用できるようにする。</p>

(3) 研究とのかかわり

【学び合いを深める工夫】

- ・1年生が間違えずに作れるように、アドバイスの文を加えた〈作り方〉をペアで読み合い、「友達のアドバイス文のよいところを見付けよう。」という発問で、アドバイスを加えたことよさを考えさせる。
- ・友達の考えを加えることができるスペースを含めたワークシートの工夫をする。

【表現する力を高める工夫】

- ・児童の生活科カードの例を出し、どんなアドバイスが入るといいかをみんなで考え、書き方の見通しをもたせる。
- ・ペアで交流したアドバイスの文のよいところを全体で交流し、友だちの考えをもとに自分のアドバイスの文の表現に生かせるようにする。

(4) 展開

段階	学習活動	予想される児童の反応	・指導上の留意点<>評価 ○研究内容との関わり
とらえる 5分	<p>1 課題を把握する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">1年生がまちがえずに作れるようにアドバイスを書こう。</div> <p>2 見通しをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイスの文の書き方を確認する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・「しかけカードの作り方」で見付けた説明の工夫を想起させる。 ○児童の生活科カードの例を出し、どんなアドバイスが入るといいかをみんなで考え、書き方の見通しをもたせる。
たしかめる 30分	<p>3 自分の考えをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〈作り方〉に、アドバイスの文を考えて書く。 <p>4 学び合いをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで〈作り方〉を読み合い、友達のいいところを交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ・全体で、友達のいいところを発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どうしてセロテープでとめるかのわけが書いてある。 ・ゴムをとめるときの注意点が書いてある。 ・長さが詳しく書いてある。 ・1年生にも分かる言葉づかいになっている。 ・そのように作るわけ。 ・注意すること。 ・長さ、数、が詳しい。 ・1年生にも分かる言葉づかい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活科カードを見ながら、自分がおもちゃを作るときに注意したことを思い出させる。 ○アドバイスの文を加えた〈作り方〉をペアで読み合い、「友達のアドバイスの文のよいところを見つけよう。」という発問で、アドバイスを加えたことよさを考えさせる。 ○ペアで交流したアドバイスの文のよいところを全体で交流し、友達の考えをもとに自分のアドバイスの文の表現に生かせるようにする。
まとめる 10分	<p>5 まとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えをもとに、〈作り方〉を完成させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈評価Bの文例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あなを大きくしすぎると、ゴムがすぐにぬけてしまいます。 ・かた方を先に、セロハンテープでとめておくと、もうかた方がとめやすくなります。 ・あなにゴムをとおす時、ようじが手にささらないように気をつけましょう。 </div> <p>6 振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふりかえりカード」に分かったことや、友だちの考えを聞いて思ったことなどを記述する。 ・記述内容を発表する。 ・次時の学習内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生がまちがえないで作れるように、アドバイスを書くことができた。 ・友だちの考えを聞いて、アドバイスをたすことができた。 	<p><評価規準></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・〈作り方〉の手順の後に、作業上の注意点、なぜそのように作るかの訳、などのアドバイスの文を考えて書いている。 <p>【書ウ】(ワークシート)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・B評価に達している児童には、アドバイスの文があることで、1年生が間違えずに作れそうかを考えさせたり、その他のアドバイスの文をつけ加えさせたりする。